

上田市・青木村地域公共交通利便増進実施計画(概要)

新規(令和7年9月認定)

上田市・青木村では、公共交通ネットワークの維持及びサービスレベルの確保のため、

- 効率性や地域ニーズを反映した**地域公共交通ネットワークの再編**、**ゾーン制運賃の導入**や**キャッシュレス化の推進**等による**公共交通利用環境の改善**により、**地域住民や観光客双方の利便性向上**を図る。
- また、市とバス事業者の間で5年の運行協定を締結し、バス事業者への公的支援を拡充することで、**交通事業者の経営基盤強化**を図り、**地域公共交通の持続可能性の向上**に繋げる。

事業の内容

- ① 地域公共交通ネットワークの再編**【法第2条13号イ(1,2)、ロ(2)、ハ】
(傍陽線、菅平高原線、真田線、塩田線、久保林線、祢津線、鹿教湯線、青木線等)
市内バス路線について、折り返し重複区間の解消や、地域ニーズを反映したルート変更(多くの商業施設や病院等への乗り入れ・観光客の多いエリアへの延伸・交通結節点である上田駅を始点とする等)を実施。
また、増便やパターンダイヤ化により利用しやすいダイヤ設定を実施。
- ② 公共交通利用環境の改善**【法第2条13号ロ(1)、ハ】
市内バス路線について、ゾーン制運賃(初乗り100円、ゾーン跨ぎ100円)を導入する。併せて、チケットQRの共通化や利用者に分かりやすいバス路線図・時刻表の作成、GTFSの整備を実施。
- ③ 交通事業者の経営基盤強化**【法第2条13号ハ】
市とバス事業者の間で5年の運行協定を締結し、バス事業者への公的支援を拡充。

事業の効果

・地域公共交通の利便性の向上

地域ニーズに応じたルート変更、ゾーン制運賃の導入やキャッシュレス化の推進により、地域住民や観光客の利便性が向上。

・地域公共交通の持続可能性の向上

市とバス事業者間で5年の運行協定を締結し、バス事業者への公的支援を拡充することで、長期安定的な交通サービスを確保。

- ・作成自治体：長野県上田市、青木村
- ・事業実施区域：上田市及び青木村の全域
- ・事業実施予定期間：令和7年10月～令和12年9月

再編後の地域交通ネットワーク

